

仕事で利用している方もいますよね。私自身も深く語れる人間ではありませんが、たまに使ってヒントを貰っているという感じです。最も身近で利用できる人工知能というところでしょうか。

私の年代の人間にとっては既視感があるかもしれません。実はパソコンが普及し、いわゆる検索エンジンが一般化した時と同じ感覚があります。ウィキペディアやグーグルがあれば、わからないことがなんでも分かるというのがとても衝撃的でした。ChatGPTはその進化系のように感じます。これまでの単純に調べるといふ機能から、新たに生み出すこともできるようになりました。文字であったり画像であったり。課題のレポートもこれで作っている学生がいるとかいないとか。

以前からロボットが人間を超える日があるのかという話題は続いています。ですが、いよいよという気がします。実際、記憶力に頼っている日本の教育ってどうなっていくのでしょうか。ChatGPTを使用した授業を想像すると、先生の役割が大きく変わるように思います。ChatGPTが一般化した時、多くの人の仕事が奪われるかもしれません。クリエイティブでない仕事は淘汰されていきそうです。



さて、歯科は？ChatGPTに仕事を奪われるという不安よりも、もっと進化して欲しいなあと思います。いろいろな器械はもちろん進歩していますが、入れ歯や歯の神経の処置等の基本は、100年単位で変わっていません。最古の総入れ歯は戦国時代に作られたものと言

われていて、今とほとんど同じ形です。武田信玄、上杉謙信の時代ですよ！100年後の歯科治療はもっと変わってくれますかねえ。

### タベマチフォーラム

先月15日、第6回タベマチフォーラム（最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会）を開催しました。コロナを経て、まだまだ試行錯誤が続く中、多くのご協力の下、充実した一日となりました。来年も9月頃に開催予定です。多くの方が参加できる、楽しい会にしたいと思います。開催予定が決まりましたらご報告いたします。

